

正 誤 表

2007年5月16日現在

弊社雑誌 臨床放射線第51巻10月臨時増刊号（11号）『Interventional Radiology
のコツ 2006年版』 2006年10月30日 発行の下記論文中に著者からの訂正の
アナウンスメントがありましたのでお知らせします。

飯塚有応ほか：脊髄動静脈奇形 / 動静脈瘻, Interventional Radiologyのコツ
2006年版. 臨放52（臨増）：1345-1357, 2006

雑誌 臨床放射線第51巻10月臨時増刊号（11号） 『Interventional Radiologyのコツ 2006年版

「著者からの訂正」

具体的な問題点，訂正はコツの論点で誤解を招く記載があり削除、訂正させて
いただきたい。

- 治療成績が筆者の過去所属した多施設での症例数の合計である事。
- 治療した全症例の経過、予後を把握しきれていないため、合併症例数が不正
である事。
- 治療機器の進歩により治療した時点で塞栓できなかつた症例にも適応が広
がる可能性がある事。
- 外科的治療にも新たな術式が導入される事も期待される事。